

特定非営利活動法人 緑と水の連絡会議 [島根県推薦] (島根県大田市)

<http://www.iwami.or.jp/ohgreen/>

代表者名：高橋 泰子 団体構成員数：31名

緑と水の連絡会議は、社会参加に困難を有する子供・若者の居場所となるとともに、多様な社会体験の提供、臨床心理士のカウンセリングなどによる自立支援活動を行っています。また、広く若者に対して、無料カフェ・食堂事業や啓発・研修活動を行い、幅広く地域の青少年健全育成・子育て支援活動に寄与しています。

国立公園三瓶山や世界遺産石見銀山遺跡の保全活動に、多くの学生ボランティア、国際ボランティア等を受け入れ育成するなかから、青少年の抱える課題にも着目し、平成22年に「ゆきみーる～青少年の居場所～」を設置以降、8年間にわたり、青少年・子育て支援事業にも取り組んでいます。

従来の福祉・教育施策では十分対応ができなかった子供・若者についても支援を行っており、運営検討会議には、保健所、障害者相談支援事業所、社会福祉協議会、主任児童委員など他機関から参画を得て、そのノウハウを活動に取り入れています。

さらに、個別対応では医療機関と連携するなど、支援の独自性と専門性を両立しています。

また、国際ボランティアや協力企業の高齢者施設・保育所との異文化・異世代交流によって、若者の価値観を拡げ社会性を育む取り組みを行ったり、「生協しまね」から委託を受け、近隣の生協利用者が注文した商品を居場所利用者と支援者が一緒に仕分け、受け渡しをすることで就労へ向けた練習（中間的就労）にしたりしています。



「青少年カフェ」の様子



「交流活動」の様子



青少年の居場所チラシ
「ゆきみーる」通信

■選考委員のコメント

社会参加に困難を有する子供や若者に対し、学生ボランティアや国際ボランティアを巻き込み、多様な価値観を反映しながら、私設公民館における文化交流や地域交流などの独自性の高い取り組みを実践してこられました。

[受賞者からのひと言]

平成22年、青少年の居場所「ほっとスペースゆきみーる」は、不登校の児童・生徒が義務教育が終わってからも相談したり、通うことができるようにとの思いで開設されました。

この8年の間には若者たちが不登校だけではなく、

様々な理由で居場所を求めていることが分かり、その支援の方法を他の機関と繋がることで広げてきました。

今回の受賞を機に、地域や他機関と対話を重視しながら更なる連携を深め、全ての人の居場所づくりをめざしていきたいと思います。